

JA長野県
営農センター

平成29年度

JA長野県営農センターの事業進捗状況について

当営農センターも本年度で立ち上げから11年目となりました。本年度は平成28年～30年の中期3カ年計画の2年目の年であり、その進捗状況について報告させていただきます。

本中期3カ年計画では、以下の6項目について事業方針を樹立し、項目ごとに実行具体策を策定して事業に取り組んでいます。

1 生産基盤の強化に向け農業振興ビジョンの実践およびJA推進体制整備をすすめ、新規就農者も含めた多様な担い手の育成を支援します。

2 中心的担い手に対してはJAと県域が外向く体制を強化し、総合的な支援を実施するとともに、労働力確保対応等の体制整備を検討します。

3 に関して、2015年(平成27年)農林業センサスによれば、本県における農業経営体の数は53,808経営体で、そのうち法人化しているのが1,156経営体あります。また、販売金額別に見ると3,000万円未満の経営体は減少している一方で、3,000万円以上の経営体については3,000万円～1億円未満の層で1,100経営体(前回2010年(H22)比+17・8%)、1億円以上が215経営体(同+33・5%)で、経営規模の二極化がすすんでいます。

人口減少で農産物需要が減少傾向のなかでは、農産物の単価が大幅に上がることは考えにくいため、こうした状況のなかで農業所得の増大を図るには、規模拡大と反収のアップ、労働生産性の向上が必要となります。これに関して、「リンゴ高密植わい化栽培」や「業務用キャベツ・加工トマト機械化一貫体系」などの栽培方法について積極的に推進を行っています。「リンゴ高密植わい化栽培」については、県内のJA技術員とともに「高密植わい化研究会を立ち上げて、県内の生産園地の合同視察

3 農業所得増大に向け、多収穫省力型栽培など新技術の開発と研究、商品化率の高い品目(品種)の選定・誘導と定着化をすすめます。また、施設化栽培等の拡大に向けた支援策を展開します。

4 営農技術員サポートセンターによる営農技術員向けのボトムアップ研修等を開催し、担い手のニーズに対応できる営農技術員を育成するとともに、広域専門指導体制の整備をすすめます。

5 「JA長野県営農指導者会議」専門部4ブロック毎の現地検討会・研修会等により技術・販売・資材情報の共有化などを行い、相互研鑽と品目別振興方策の統一した推進体制を強化します。

6 「GAP手法(農業生産工程管理)」

による知見の共有化や意見交換を行いながら、より生産性の高い栽培方法について研究をしながらすすめています。「高密植わい化栽培」により、「リン」専業で経営が成り立つ生産者も現れてきており、有望な県オリジナル品種の増産とも相まってリンゴ産業の再構築に明るい兆しが見えてきました。

また業務用野菜の栽培推進にあたっては、北海道や秋田県などの大規模経営の先進地事例を参考にしながらで実際に収穫機による収穫検学会などを開催し、実践を通じて本県・生産者に適した機械の調整や開発も含めて取り組んでいます。

4 については、平成27年にサポートセンターを新設して取り組んできていますが、特に営農技術員の栽培指導レベルアップを目指して、品目ごとにボトムアップ研修と称した勉強会を開催してきました。平成27年度に野菜ボトムアップ研修を実施し、28年には果樹29年は花きというところで県農政部の専技や全農長野県本部の技術審議役に講師を務めていただきながら、技術力の向上を図って

の更なる高度化をすすめ、安全で安心な信州農産物の生産供給体制を拡充します。

1 については、JAごとに生産振興策を盛り込んだ「農業振興ビジョン」(わが産地を今後どのような産地に作り上げるのか)の策定支援をし、全JA(総合16JA)での策定が完了していますが、具体的振興策を実現するために農業開発基金の活用をすすめるJA別・品目別に生産基盤の拡大強化に取り組んでいます。

2 については労働力の確保が重要な課題となっている中で、外国人農業実習生の活用について、一時帰国を認めるなどの規制緩和を盛り込んだ長野県区としての特区申請がなされているところで、現在国からの審査結果待ちという状況となっています。

きました。JAにおける営農技術員のベテランから若手への技術継承が課題となっているなか、県域としてJAを超えた技術交流の場作りを行っています。

5 についても、前年度においては、年間全県で50回近い研修会や会議を開催することができ、技術員相互の交流が図れたと考えています。本年度も9月末時点で26回と前年同様のペースで開催しています。

6 については、国の定めるガイドラインへの準拠に向けて、長野県版GAPの改訂作業がすすめられている状況であり、安全安心担当者会議などを通じて進捗状況をつないでいきたいと思っています。

このように、当センターは中期3カ年計画にもとづく行動計画に沿って、地域農業の将来像を描きつつ、営農指導員の育成をすすめながら、農業所得増大につながる実践事例を積み上げて、長野県農業の生産基盤づくりをすすめています。



営農技術員向けボトムアップ研修

自動車推進コンクール優秀者を表彰

長野県農協生活事業推進協議会自動車専門部会（事務局／全農長野県本部燃料・ホームエネルギー課）は10月3日（火）、千曲市で自動車事業全体研修会を開催しました。研修会では「自動車推進コンクール」の表彰式と接遇研修を行い、県下各ＪＡ・オートバル会社の販売・整備担当者56名が出席しました。

この「自動車推進コンクール」は平成7年度から毎年実施し、今年で22回目を迎える歴史あるコンテストです。4月1日から翌年3月31日の1年間に、コンクール参加者が販売した新車および中古車の台数の応じ上位15名（最優秀賞1名、優秀賞14名）を表彰しています。また、

ただき光栄です。この賞を取れたのも周りの方々の支えがあつてこそだと思っています。この受賞を励みにして、これからも販売台数を伸ばしていきま〜と喜びを語りました。累計販売台数のゴールデングラプリ賞に（株）ジェイエイオート長野の中西崇さん、グランプリ賞は（株）オートバル信州諏訪の武井千明さんが受賞しました。

来年度も引き続き自動車推進コンクールを実施し、県下ＪＡ自動車事業に携わる役職員が一丸となり、組合員の皆様から喜んでいただけるように自動車の取り扱いを進めていきます。

第21回長野県自動車推進コンクール表彰者

総台数ポイント部門			
表彰内容	JA・会社（部署）	氏 名	年間販売台数
最優秀賞	ジェイエイ・アップル（株）	丸山 勉	184
優秀賞	（株）オートバルいいだ（オートバルいいだ店）	藤本 秀信	201
	（株）JAオート長野（あづみオートバル）	中西 崇	151
	（株）オートバル信州諏訪（オートバル富士見）	小松 裕一	153
	（株）オートバル上伊那（オートバル駒ヶ根）	竹村 昌樹	142
	（株）ジェイエイオート長野（JAグリーン長野 オートバル篠ノ井）	宮崎 英俊	105
	ジェイエイ・アップル（株）	夏目 洋二	125
	（株）ジェイエイオート長野（JAグリーン長野 オートバル篠ノ井）	日詰 謙司	104
	（株）ジェイエイオート長野（大北オートバル北部センター）	横川 千寿	121
	（株）オートバル信州うえだ（オートバル中央営業所）	中村 和彦	108
	（株）オートバル飯山（本店）	笠原 牧人	110
	（株）オートバル信州うえだ（オートバル東部営業所）	山寺 充晃	105
	塩尻市農業協同組合	川上 大輔	106
	（株）オートバルいいだ（オートバルいいだ店）	原 崇徳	119
	佐久浅間農業協同組合（オートバルみなみ）	北村 寛	98

表彰内容	JA・会社（部署）	氏 名	累計販売台数
ゴールデングラプリ賞（2,000台以上）	（株）ジェイエイオート長野（あづみオートバル）	中西 崇	2,107
グランプリ賞（1,000台以上）	（株）オートバル信州諏訪（オートバルすわこ）	武井 千明	1,054

「第42回長野県JA-SSドライブウェイサービスコンテスト」開催

長野県農協生活事業推進協議会燃料専門部会と全農長野県本部は10月18日（水）、安曇野市堀金の全農長野営農研修センターで、サービスステーション（給油所）スタッフの店頭接客サービススキルアップやカーメンテ収益の向上、土気高揚による長野県JA-SSの活性化などを目的に「第42回長野県JA-SSドライブウェイサービスコンテスト」を開催しました。

県内各地区から選ばれた16名が、迎え入れから送り出しまでの一連の流れなどを行うフルサービス給油にて、あらかじめ決められた設定条件や時間などの中で、日ごろの成果を競いました。各選手とも素晴らしい笑顔の接客サービスを披露し、レベルの高いコンテストとなりました。コンテストを通して、更なるサービス向上をはかり、お客様の満足度を高め信頼されるSS作りに取り組んでいきます。

▼SS協同経営課



最優秀賞を獲得した西牧 健太選手（JAあづみ 温SS）



大会役員、出場選手全員での記念撮影

第42回ドライブウェイサービスコンテスト入賞者

賞	選手名	所属	
		JA	SS
最優秀賞	西牧 健太	あづみ	温
優秀賞	有賀 翔太郎	上伊那	協同経営 東部中央
優秀賞	竹村 徹也	上伊那	協同経営 グリーンロード美篤
優良賞	清澤 竜也	松本ハイランド	協同経営 フルーツロードいまい
優良賞	飯村 嘉樹	（株）ジェイエイサービス	バビアセルフ
優良賞	西澤 正樹	大北	協同経営 白馬アルプス

農林水産祭「実りのフェスティバル」に出展

ＪＡ長野県農産物ＰＲ協議会は11月10日（金）と11日（土）の両日、東京池袋で開催された農林水産祭「実りのフェスティバル」に出展しました。

長野県ブースは、シナノスイート、シナノゴールド、南水、シャインマスカット、えのきたけ、ぶなしめじ、エリンギ、やまなめ、茶えのき茸、りんご三兄弟ジュースを取り揃え、長野県の旬の味覚をＰＲしました。

贈答用のシナノスイート、シナノゴールドは販売開始後すぐに完売し、袋詰めのご家庭用も10キロ箱にシナノスイート、シナノゴールドを1段ずつ詰め換えて購入するお客様が多くいました。南水は試食が「甘くてジューシー」と好評で、初日にほとんどが売れました。

今年は長野県ブースに秋篠宮ご夫妻の視察もあり、長野県の北原富裕農政部長が商品説明をしたところ、シャインマスカットに興味を持たれたようでした。



袋詰めりんごを買い求める来場者

農産加工品展示商談会にて 長野県農産物をPR

全農長野県本部生産販売企画課は10月3日(火)、東京交通会館(東京・有楽町)において開催された「いきいき信州」農産加工品展示商談会(長野県信連主催・全農長野県本部共催)に、長野県の農産物をPRするブースを出展しました。

この商談会は、長野県産農産物を原料とした農産加工品を中心に、販路拡大支援を目的に毎年1回開催されており、今回は3回目となります。県内JA、農業法人等の計47団体が200点以上の商品を出展し、前年を大幅に上回る500名以上のバイヤーらが来場して賑わい、活発な商談が行われました。主に来場者が出展ブースを自由に見て回る自由商談形式を中心としながら、今年は新たな取り組みとして、出展セラーとバイヤーの双方にビジネスチャンスの創出と的確な出会いの場を提供す

るための「予約商談」も行われました。

当県本部のブースでは、農産加工品の原料となる野菜やきのこ、果実、米などの生鮮品を展示し、旬を迎えた長野県オリジナル品種の梨「南水」の試食を提供し、長野県の地理を生かした美味しさのPRと、安心・安全の取り組みについて紹介しました。

また、JA長野県農産物PR協議会もこの商談会に協賛し、受付や予約商談会場に県内産花きのフラワーアレンジメントを提供して信州の秋らしい雰囲気を出しました。アンケートにご協力いただいた来場者には、信州産巨峰果汁を使った「信州巨峰のクリームコロン(グリコ)」をプレゼントし、今回の出会いへの感謝と今後のつながり作りへと活用いただきました。



受付や予約商談会場に展示した県産花きアレンジメント



農産物と産地マップ等を展示

恒例のオークワトラックセールを開催

「新鮮な農産物を産地から直送」

全農長野県本部営業課は9月上旬から10月上旬、近畿・東海地区にスーパーを展開する(株)オークワ(本社/和歌山県)で恒例のトラックセールを4回開催しました。産地直送の新鮮な野菜、果実、きのこを取り揃えお買い得価格で販売しました。大勢のお客様にお越しいただくことができました。

9月16日(土)／スーパーセンターオークワ南紀店

JA佐久浅間の野菜(レタス、キャベツ、白菜、ブロッコリーなど)を中心に、長野県産の果実(サンブルーン、サンツがる、幸水、種なし巨峰、シャインマスカット、ナガノパープルなど)、きのこ(えのき、ぶなしめじ、なめこなど)を販売しました。本年もJA佐久浅間よりJA職員に販売支援に来ていただきました。当日は台風が接近しており悪天候の中での開催でしたが、毎回このトラックセールを楽しみにされている多くのお客様が来店されました。



9月27日(木)／わくわくシティ尾崎店

JA長野八ヶ岳より販売支援に来ていただき、レタス、白菜、キャベツなどを中心販売しました。豊水、シナノドルチェ、種なし巨峰、シャインマスカット、きのこもお買い得価格とすることもありとても好評でした。

9月30日(土)／パームシティ和歌山店

レタス、白菜、キャベツ、きのこ、豊水、シナノドルチェ、種なし巨峰、ナガノパープル、シャインマスカットなどを販売しました。10月7日(土)／スーパーセンターオークワ中津川店
レタス、白菜、キャベツ、豊水、秋映、種なし巨峰、シャインマスカットなどを販売しました。中津川店では初めてのトラックセールでしたが、大勢のお客様にお越しいただき、大盛況となりました。



テレビ朝日の社員食堂で 「りんご三兄弟」をPR

全農長野県本部果実課と東京販売事務所は10月30日(月)、テレビ朝日本社(東京・港区)の社員食堂で、長野県オリジナル品種の「りんご三兄弟」をPRしました。

発信力のあるマスメディア関係者の集まる場所での認知度向上を図ることを目的に試食とアンケート調査を行い、371名から回答をいただきました。

食味評価は大変高く、「3種類の食べ比べがおもしろい」との声も多数あり、りんご三兄弟それぞれの味を知っていただくことができました。アンケート回答者にりんご三兄弟セットをプレゼントしたところ社内で話題になり、話を聞いた社員の方が試食に見え、時間中は人が途切れることがありませんでした。合わせて、県産果実も紹介し、「長野県は果実が豊富な県」ということを知っていただく良い機会となりました。



松本山雅FC アウェイゲームで シナノゴールドをPR

全農長野県本部は11月11日(土)、松本山雅FCのアウェイゲーム(対アビスパ福岡戦)に合わせ、福岡市のレベルファイブスタジアムで「シナノゴールド」のPRイベントを開きました。

松本広域連合の観光PRブースに協力出展し、シナノゴールドの試食とアンケート調査を実施。サポーターに「黄色いリンゴ『シナノゴールド』の試食はいかがですか」と声を掛けると「甘酸っぱくて美味しい」「歯応えが良い」と評価をいただきました。

アンケート調査では、シナノゴールドの認知度が47%、「リンゴが好き」という回答が95%と、PR次第でさらに消費拡大が期待できると感じました。



ジュシーなシナノゴールドに「おいしい」の声をたくさんいただきました

JAグリーン長野アグリしなのいセルフSS 日本初導入 最新鋭洗車機デビュー

全農長野県本部SS協同経営課とJAグリーン長野は、10月27日(金)から29日(日)の3日間、アグリしなのいセルフSSにて洗車イベントを実施しました。期間中、洗車機は開店から閉店まで途切れることなく稼働し、3日間で計280台のお車を綺麗にさせて頂きました。

日本初導入の最新鋭とは、お車の車形を読み、安全性、洗浄性、乾燥性を従来型より大きく向上させ、最高級の仕上がりを提供できる洗車機となっています。

また、地域初のガラス系コーティング(ティアラコートプレミアム)メニューも完備。硬質な皮膜により、かたてない澄んだツヤと画期的な水弾きを実現。

お客様からは「輝



Car Wash Menu	
— 当店自慢の洗車メニュー —	
Tiara Coat PREMIUM 洗車機初！ガラス系特許技術を採用。今までのコーティング剤ではなかった厚膜で洗車。洗車後はガラスのようないびつな水弾きを実現します。 ★ ヒューズ：盗み見るボディへ ★ 耐熱性：紫外線を防ぐ ★ 耐水性：ほとぼしる水玉 ★ 耐汚性：汚れ落ちスムーズ	ティアラコートプレミアム オプションフルセット付き 2,300円
	ティアラコートプレミアム 2,000円
	シルキーコート 1,000円
	WAX洗車 700円
	シャンプー洗車 500円
水洗い洗車 300円	水洗い洗車 300円
	水洗い洗車 300円
※ 下記オプションフルセット 4,500円	
下部洗浄	プラス1 住居洗浄
200円	300円

住所／長野市篠ノ井布施五明3236
TEL／026-293-5660 営業時間／7:00～22:00

「くらしと牛乳、牛さんありがとう」 絵のコンクール表彰式

長野県牛乳普及協会(事務局／全農長野県本部酪農課)は11月11日(土)、第32回「くらしと牛乳、牛さんありがとう」絵のコンクール金賞入賞者の表彰式をJA長野県ビルで行いました。このコンクールは牛乳・乳製品への理解や親しみを深めてもらうとともに、子どもの健全育成に寄与することを目的に実施しています。

表彰式では、応募総数622点の中から10月10日(火)の審査会により選ばれた金賞10点について、審査員長の小山清氏(信州新町美術館館長)が1点ずつ講評しました。



作品の前で1点ずつ講評をする小山審査員長

金賞受賞者		(敬称略)	
賞	学校・園名	学年・年齢	氏名
長野県知事賞	高山村 高山小学校	2 学年	森山倅之介
	長野市 風間保育園	年長・5 歳	小須田 隼
	長野市 ひかり幼稚園	年長・6 歳	齋藤 樹里
長野県教育委員会賞	木曾町 開田小学校	3 学年	田川 柚希
	長野市 風間保育園	年長・5 歳	丸山 淳平
	上田市 日向幼稚園	年長・6 歳	吾妻 蒼太
(一社)Jミルク会長賞	高山村 高山小学校	2 学年	田村遼三郎
	御代田町 杉の子幼稚園	年中・4 歳	下條 純大
	松本市 鎌田小学校	2 学年	下條 颯太
長野県牛乳普及協会賞	御代田町 杉の子幼稚園	年長・5 歳	岩崎紗恵子

小学校で食育教室

全農長野県本部は10月19日(木)、長野県とおいしい信州ふーど(風土)を食べよう！育てよう！地産地消キャンペーンの一環として、小諸市立坂の上小学校で「旬ちゃんと学ぼう！小諸のおいしい農産物！in坂の上小学校」を開きました。

4時間目を使わせていただき、体育館で2年生2クラス52名に、地産地消の話、きのこの話、えのきたけのもぎ採りを体験してもらい、給食は白いも(白土馬鈴薯)のコロツケやきのこ厚揚げのみそ汁など、地産地消尽くしの時間となりました。

地産地消の話とときのこの話はクイズ形式で児童に手を挙げてもらい、体育館に子ども達の元気な声が響きました。えのきたけのもぎ採りは、やり方を説明すると、さつそく巻き紙を外し、前後左右に揺らして上に引き上げ、「採れたー」と歓声を上げ、開始前に「きのこはあまり好きではない」と言っていた児童も、自分で採ったきのこを「食べる」と笑顔で答えていました。

小諸市は全小中学校が自校給食で、毎月19日は「信州を味わう日」として小諸市周辺で伝わる郷土料理を味わっており、この日は特産物の白土馬鈴薯を使った「コモロッケ」が提供されました。



食育クイズに答える児童



もぎ採ったえのきたけを見せ合う

パスタ教室に県産きのこを提供

JA長野県農産物PR協議会(事務局／全農長野県本部生産販売企画課)は10月21日(土)、長野市内で開催された(一社)日本パスタ協会主催の「長野を食べよう！ご当地パスタクッキングスクール2017」に県産きのこを、ぶなしめじ、なめこ、エリンギを提供PRしました。

長野市内でイタリアンレストランを経営する小井土文仁オーナーシェフを講師に迎え、午前・午後の部合わせて86名が参加。「信州産きのこポークジンジャー和風スパゲッティ」と「信州サーモンとほうれん草のクリームパスタ」を調理しました。

デモンストレーションで小井土シェフはパスタにまつわるトークを織り交ぜながら「きのこは水分が多いので油をまわしてから使うのがポイントです」「茹で時間は袋の表示よりも1分減らして、ソースを絡める時間で調整します」など、家庭で調理する際のコツを説明しました。親子での参加者も多く、賑やかな雰囲気の中で実習は進み、お子さんが進んで包丁を握り材料を炒めていました。

参加者は「パスタになめこを使うのは初めて。和風スパゲッティによく合っていました。良かった」「プロのコツを学ぶことができて良かったです。家で早速試したい」と話していました。



4種類のきのこが入った「信州産きのこポークジンジャー和風スパゲッティ」(手前)



エリンギを丁寧にスライス

株式会社長野県食肉公社

【沿革及び会社の役割】

当社の沿革は、食肉流通の改善と畜産振興に寄与する施設として昭和39年に「株式会社長野県松本食肉センター」として設立したのが原点です。その後県内の食肉処理場の統廃合により平成10年に「(株)松本食肉公社」「(株)飯田食肉センター」「(株)長野食肉公社」の3



社が合併して「(株)長野県食肉公社」が設立し、松本支社と飯田支社の2処理場体制でスタートしました。さらに、処理頭数の減少等により平成27年度から関係する皆様のご理解とご協力で飯田支社を閉鎖し、現在は松本での1処理場体制による事業運営を行っています。

当社の業務は、主に全長野県本部が集荷・販売する牛・豚を中心に馬・緬羊・山羊と極まれに猪豚のと畜・解体処理を行っています。と畜・解体処理とは、食肉とするために枝肉の状態に処理することであり、当社で処理する牛・豚は、長野県内産だけとなっております。県内には当社と同じ業務を行う食肉処理場が2か所ありますが、県内産だけを扱う食肉処理場は当社だけです。J Aグループの基幹的な食肉処理施設としての機能を果たしています。さらに、当社の株主は、J Aグループの他に長野市・松本市・飯田市の行政も出資して頂いており業務の内容は公共的な意味合いもあります。ま

た、食肉の加工、販売の事業は「長野県農協直販(株)」が行っていますので、当社は生産者と食肉販売業者の橋渡しの業務に特化しています。

業務を行っている社員は、33名と少数精鋭の体制をとり、平均年齢45歳ではありますが、20代の若手から上は70代の熟練の技術者の構成となっており、安全・安心・高品質な枝肉に処理するために日々頑張っています。なお、年間の処理頭数は概ね牛で4,000頭、豚で69,600頭余りとなっています。

【当社の課題】

当社にとつての課題は、より衛生的な食肉処理を行い流通業者の皆様にお引渡しをするともに、事業を継続するための経営安定と人材確保、施設の維持等の課題があります。特に、H A C C P による衛生管理方式については、実施に向けた検討チームを立ち上げ取り組みをしております。

【社長メッセージ】

当社の使命は、県内の生産者と消費者をつなぐ『食肉生産の源流施設』として、農家よりお預かりした愛畜を安全・安心・高品質な食の原材料に変え、関係業界の皆様にお引渡することです。この業務は過去においては、県内に複

数の施設が存在しましたが、現在ではJ Aグループとしては当社のみです。この業務を通じて県内畜産業の振興と信州産食肉銘柄の確立及び地域食文化の発展に貢献するために、社員一同誇りをもって事業を行ってまいりますので、今後とも関係する皆様のご支援ご鞭撻を賜りたくお願い申し上げます。



県内産だけを扱う食肉処理場（手前の建物）

JA全農長野の事業現況

平成29年度10月末部門別実績表 (単位:百万円,%)

部門	区分	実績	計画比	前年比
米	穀	10,826	105	110
果	実	24,084	98	93
野菜	花き	55,103	90	85
野菜種苗	センター	138	106	102
きのこ		9,198	86	90
営業		9,132	89	92
生産販売部計		108,481	92	90
包装資材		5,658	101	97
生産資材		6,163	95	99
農業機械		5,001	103	104
施設住宅		2,722	119	70
生産購買部計		19,545	102	94
畜産		8,016	109	98
三岳牧場		184	113	106
SPF繁殖センター		155	93	95
酪農		11,148	107	98
ハケ岳牧場		189	98	98
畜産酪農部計		19,691	108	98
燃料・ホームエネルギー		12,886	111	110
S S 協同経営		6,082	120	113
生活		7,352	103	97
生活部計		26,320	111	106
長野県本部計		174,038	97	93

(内部販売高含む)

12月の動き

改革推進・企画課	12/7(木)	地区別懇談会(中农信地区) JA中农信館
	12/8(金)	地区別懇談会(東北信地区) JA長野県ビル・アクティール
総務広報課	12/29(金)	仕事納め
	1/4(木)	仕事始め
畜産酪農部	実施中～12/31(日)	信州の畜産酪農キャンペーン (詳細は裏表紙をご覧ください)
畜産課	12/1(金)	長野県畜産共進会(交雑牛の部) 長野県食肉公社(松本市)
	12/2(土)	信州和牛松本即売会 長野県食肉公社(松本市)
	12/4(月)	第38回 信州和牛(長野県産)枝肉共助会 京都食肉市場
	12/5(火)	長野県畜産共進会(和牛肥育の部) 大阪食肉市場
	12/7(木)	12月期長野県中央家畜市場 長野県中央家畜市場

12月のラジオ番組表

放送日時	放送局	番組名	放送内容(予定)
12/5(火) 16:10	SBCラジオ	情報わんさかGO!GO!ワイドらじ☆カン内「ミルクマガジン」	酪農家訪問
12/7(木) 10:13	SBCラジオ	坂ちゃんのずくだせえぶりでー内「ラジオカーレポート」	干柿
12/12(火) 16:10	SBCラジオ	情報わんさかGO!GO!ワイドらじ☆カン内「ミルクマガジン」	県内メーカー紹介
12/19(火) 16:10	SBCラジオ	情報わんさかGO!GO!ワイドらじ☆カン内「ミルクマガジン」	乳和食のレシピ紹介
12/26(火) 16:10	SBCラジオ	情報わんさかGO!GO!ワイドらじ☆カン内「ミルクマガジン」	牛乳クイズ
12/30(土) 13:00～13:55	F M 長野	J A 全農COUNTDOWN JAPAN	市田柿の紹介

編集後記

本格的に冬到来、朝晩寒いです。昨年より寒さも早く来ている感じがします。

休みの日、灯油を買いに行つて暖房機も出してきました。衣類も冬物を出してチェンジ。フルマも一台早めにタイヤ交換しようと思い、知り合いがいるショップに行つたのですが5時間待ちとの事。皆さん交換も早めのようです。

帰りにA・コープに寄りましたが、お歳暮コーナーが設置されていました。またそれぞれの売場も鍋材料が中心で季節を感じましたし、鍋つゆもいろいろな種類があつてどれもおいしそう。あれこれ買つて、もちろん夕食は鍋にしました。

(K)

信州産の美味しいお肉・たまご・牛乳乳製品を買って当てよう!

信州の畜産酪農 キャンペーン

平成29年11月1日(水) ▶ 12月31日(日)まで

信州産を食べて
元気に!
信州産を食べて
応募しよう!

抽選で合計
150名
に当たる!!

生産者への応援メッセージ
または信州産商品の感想を添えて
応募ください!!

JA全農長野は信州産の農畜産物を通じて
御歳暮贈り物を応援しています!

信州産畜産酪農品セット

抽選でプレゼント!

合計150名(A賞30名、B賞30名、C賞40名、D賞50名)

A賞
30名様



B賞
30名様



C賞
40名様



D賞
50名様



※プレゼント賞品は情勢等により写真と異なる場合がございます。あらかじめご了承ください。

キャンペーン対象商品

豚肉	★信州ポーク ★信州Aポーク
牛肉	★信州プレミアム牛肉 ★信州和牛 ★信州アルプス牛
牛乳・乳製品 (商品名)	★信州がおいしい農協牛乳 ★デザートJヨーグルト ★信州の産地がみえる牛乳 ★信州発元のきヨーグルト ★松本山雅牛乳 ★はちみつヨーグルト ★農協牛乳プレーンヨーグルト ★モオ〜ッと牛乳寒天
たまご (商品名)	★信州のたまご ★カミーちゃんたまご ★恵 ★菜の花みゆき卵 ★みなみちゃんたまご ★信州黄金たまご
肉加工品 (商品名)	★信州産豚肉使用ロングウィンナー (あらびき、ピリ辛、レモン&バセリ) ★信州産あらびきポークウィンナー (スモーク、ガーリック) ★信州産豚肉原料使用厚切りロースハム ★信州産豚肉原料使用厚切りベーコン ★信州産やわらか味付けホルモン (塩味、みそ味、キムチ味)

応募方法

店頭に備え付け応募チラシの応募記入欄に、郵便番号、住所、お名前、電話番号、年齢、職業、希望プレゼント商品名を明記の上、この用紙で封筒を作成し、信州産の豚肉・牛肉・たまご・牛乳・乳製品・肉加工品を5点以上購入したことがわかるレシートを1口として同封し、82円切手を貼って郵送してください。(レシートは複数枚になっても結構です。)

当選発表

当選者には、商品の発送をもって、発表とさせていただきます。

※応募された「個人情報」は、本キャンペーンの商品の発送のみに使用いたします。

実施団体

JA全農長野/JA長野県グループ(農政対策会議)/JA長野県・信州ポーク生産販売協議会/JA長野県・信州肉牛生産販売協議会
JA長野県養鶏部会協議会/長野県生乳生産販売委員会/長野県牛乳普及協会

協賛団体

株式会社A・コープ/JA全農長野生活課
JAまごころ宅配/長野県農協直販所



光と風と水のハーモニー
JA全農長野

JA全農長野ホームページ
インターネットで産地直送「JAタウン」

<http://www.nn.zennoh.or.jp>
<http://www.ja-town.com>

